トピックス

2025 年 10 月 29 日
東日本高速道路株式会社
株 式 会 社 NTT ドコモ

新サービス「AI ルートジャッジ～アクア vs 京葉・館山～」
11 月 19 日より実証実験開始

～AI 渋滞予知の技術を応用した新サービス！木更津からのルート選択にご活用ください～

東日本高速道路株式会社（以下、NEXCO 東日本）と株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、ドコモが開発した「AI 渋滞予知」※1 の技術を応用し、NEXCO 東日本が提供する新サービス「AI ルートジャッジ～アクア vs 京葉・館山～」（以下、AI ルートジャッジ）の実証実験を 2025 年 11 月 19 日（水）から開始します。本実証実験では、木更津 JCT から特定のエリア(京葉 JCT、箱崎 JCT、板橋 JCT)までの当日午後の予測所要時間について、 CA 東京湾アクアライン（以下、アクアライン）を経由するアクアラインルートと E14 館山自動車道（以下、館山道）・ E14 京葉道路を経由する京葉・館山ルートの所要時間を予測し、その比較結果を配信いたします。

木更津 JCT から埼玉方面や東京方面へ向かう際のルート選択にご活用いただけます。

◆実証実験開始の経緯

房総半島から都心方面へ車で向かうルートとしては、アクアラインルートと京葉・館山ルートの大きく２パターンがあります。現在提供している CA アクアラインおよび E14 京葉道路・ E14 館山道の「AI 渋滞予知」は、各路線において多くのお客さまにご好評をいただいておりますが、「複数ルートのうち、どちらを使うとより早く着けるのかを知りたい」というご要望が多く、実証実験開始に至りました。今後、実証実験での効果検証やお客さまの反応も踏まえ、本格導入に向けた検討を進めていく予定です。

本サービスにより、房総半島から都心方面へ向かう際の渋滞を回避することで、交通分散を通じた渋滞緩和をめざします。

◆予測所要時間を提供する区間

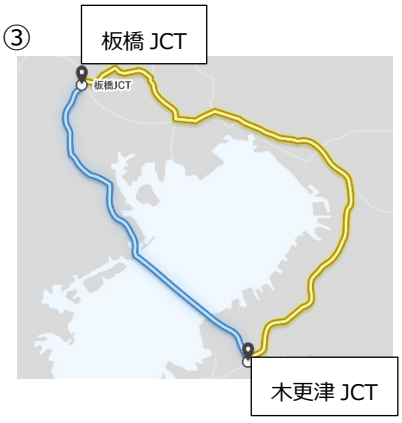
房総から首都高管内の道路を経由して都心方向へ向かうお客さまが最適なルートを選択できるように、アクアラインルートと京葉・館山ルートから多くのお客様が利用される目的地として、下記３つの経路を選定しました。

① 木更津 JCT～外環道 京葉 JCT まで（ E6 常磐道方面）
② 木更津 JCT～首都高速道路 箱崎 JCT まで（都心方面）
③ 木更津 JCT～首都高速道路 板橋 JCT まで（ E17 関越道方面）

①

②

③



◆閲覧方法

（１）「AI ルートジャッジ」は、以下の方法でご利用いただけます。

・右の二次元バーコードを読み取ってご利用ください。

・「AI ルートジャッジ」と検索してご利用ください。

・下記 URL からもアクセスいただけます。

https://www.driveplaza.com/trip/area/kanto/traffic/ai-route-judge/

（11/19 から情報提供開始）

（２）本サービスの閲覧方法および特徴

※開発中の画面です。

【特徴】

① 予測所要時間を提供する３区間から選択できます。

② スライドバーで渋滞予測時間を変更できます。

③ ２ルートの渋滞予測をどちらが早いか一目で確認できます。

④ ２ルートの時間帯ごとの所要時間を一目で確認できます。（選択した時間帯は左マップとリンク）

⑤ 料金検索やリアルタイム渋滞情報はドラぷらおよびドラとらから検索して確認できます。

◆AI ルートジャッジの仕組み

これまで CA アクアライン、E14 京葉道路における「AI 渋滞予知」を実現していた、ドコモの「AI 渋滞予知」技術と NEXCO 東日本の交通工学的知見・ノウハウのかけ合わせによって出力された予測結果と、首都高速道路（株）の交通統計データに基づく、各経路における時間帯ごとの「追跡時刻和※2」データとの組み合わせを通じて各ルートの所要時間を予測し、その比較結果を配信いたします。

「AI ルートジャッジ」の仕組み

NEXCO 東日本とドコモは今後も、「AI 渋滞予知」のさらなる活用を検討し、交通課題の解決に取り組んでまいります。

※1 ■2017 年 11 月 30 日プレスリリース（https://www.e-nexco.co.jp/pressroom/head_office/2017/1130/00006785.html）
NEXCO 東日本と NTT ドコモ、【CA】東京湾アクアラインにおいて「AI 渋滞予知」による渋滞予測実証実験を開始
■2022 年 7 月 27 日プレスリリース（https://www.e-nexco.co.jp/pressroom/head_office/2022/0727/00011580.html）
『AI 渋滞予知』2022 年 7 月 28 日より【E14】京葉道路でも実証実験を開始

※2 追跡時刻和とは、各時刻、各区間の所要時間に基づき、特定時刻に特定地点を出発した車両が移動に伴って受ける影響を加味した道のり全体でかかる所要時間

本件に関するお問い合わせ先	
東日本高速道路株式会社 広報課 TEL：03-3506-0175	株式会社 NTT ドコモ モバイルイノベーションテック部 社会予測技術開発担当 Mail：aitp-info@ml.nttdocomo.com

別紙 1

AI 渋滞予知とは？

ドコモが持つ携帯電話ネットワークの仕組みを利用して作成されるリアルタイム版モバイル空間統計※1（以下、人口統計）と、NEXCO 東日本が保有する過去の交通量・渋滞・規制などの実績データをもとにドコモが開発した「AI 渋滞予知」技術、さらに NEXCO 東日本の交通工学的知見・ノウハウを掛け合わせることで、当日の人出から所要時間や交通需要※2を予測しドライバーに配信しています。

「AI 渋滞予知」は、約 9 割のお客さまから高評価をいただいています（別紙 2 参照）。

「AI 渋滞予知」の仕組み

※1 「モバイル空間統計®」のラインナップの 1 つである国内分布統計（リアルタイム版）。エリアごとや属性ごとの集団の人数を示す情報であり、お客さま個人を特定することはできません。本実験で使用する人口統計は、お客さまのプライバシーを厳重に保護するべく、モバイル空間統計を作成・提供する際の基本事項をまとめた「モバイル空間統計ガイドライン」を順守しております。

・モバイル空間統計ガイドライン

(https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/disclosure/mobile_spatial_statistics/guideline/index.html)

※2 交通需要とは、各時間帯において高速道路を潜在的に通過しようとする車両台数で、道路が流せる交通量（交通容量）に制限が無かった場合の交通量に相当します

*「モバイル空間統計」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

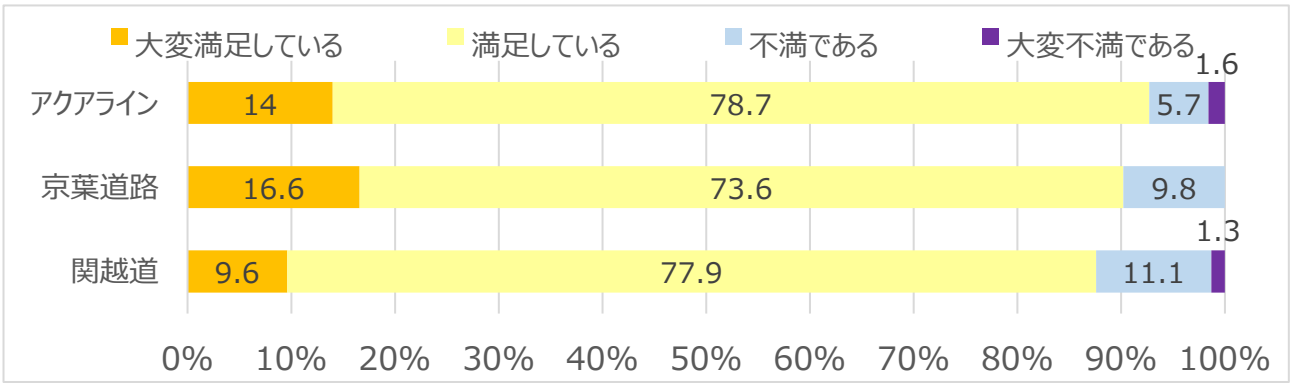
別紙２

AI 渋滞予知　お客さまアンケート結果の概要

■調査実施期間：2019 年 7 月 1 日～8 月 31 日（アクアライン）、2023 年 7 月 3 日～8 月 16 日（京葉道路）、2020 年 7 月 17 日～9 月 16 日（関越道）

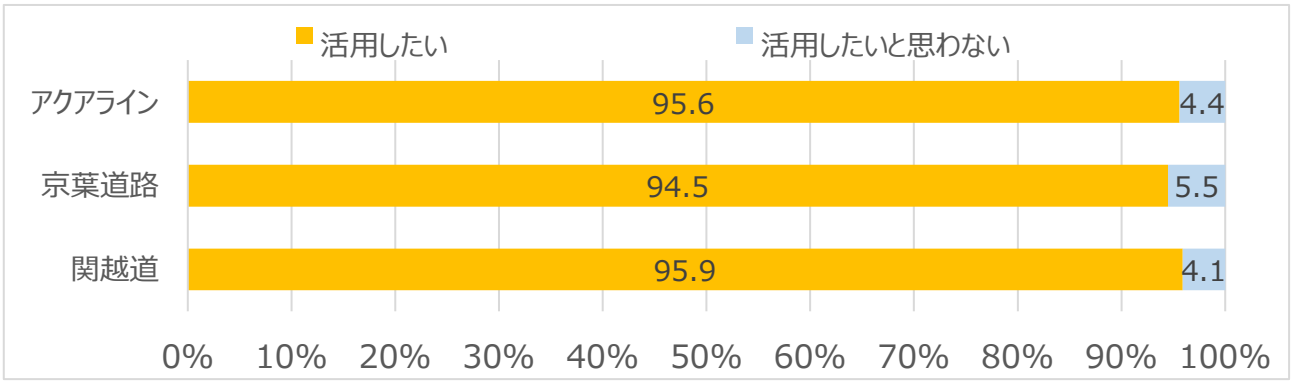
■調査方法：Web アンケート調査により実施

【AI 渋滞予知の評価】※1



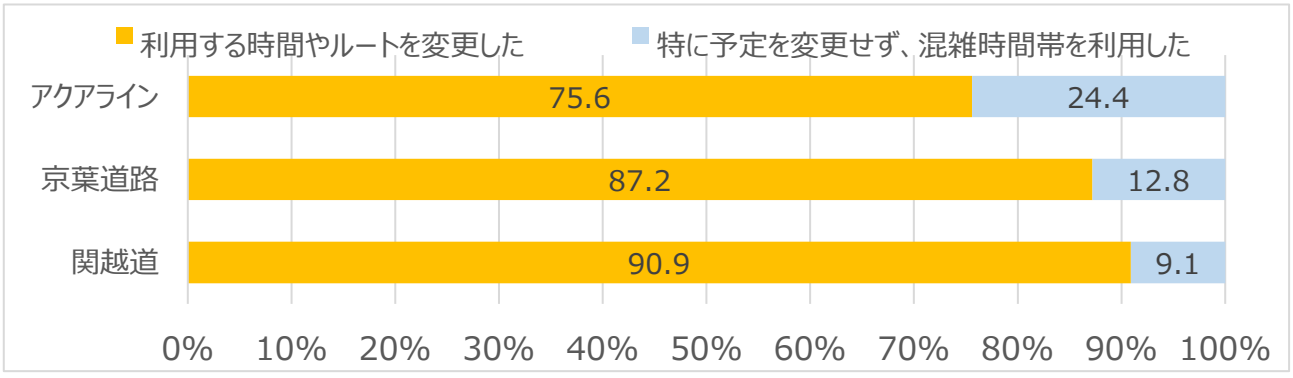
⇒約 9 割のお客さまから高い満足度をいただきました。

【今後の活用意向】※2



⇒9 割以上のお客さまから活用の意向をいただきました。

【AI 渋滞予知　閲覧後の行動】※1



⇒約７～９割のお客さまが渋滞回避行動につなげていただきました。

※1　ＡＩ渋滞予知を過去にご利用いただいたことがあるお客さまのうち、対象路線をよく利用されるお客さまからの回答を集計
　　調査数：　315（アクアライン）、169（京葉道路）、539（関越道）、
※2　アンケートにお答えいただいたお客さまのうち、対象路線をよく利用されるお客さまからの回答を集計
　　調査数：　3,120（アクアライン）、1268（京葉道路）、4,609（関越道）